

令和5年2月20日

平川市議会議長 桑田 公憲 様

教育民生常任委員会委員長 原田 淳

### 教育民生常任委員会所管事務調査報告書

本委員会における所管事務調査の結果を下記のとおり平川市議会会議規則第110条の規定により報告します。

#### 記

- 1 調査日時 令和5年1月 6日(金) 8時35分から15時00分  
1月10日(火) 8時45分から12時00分  
1月11日(水) 8時45分から15時00分
- 2 調査場所 平川市内全小・中学校
- 3 調査目的 (1) 学校経営方針を調査し、各校の教育問題を把握する。  
(2) 学校の施設を調査し、各校の問題を把握する。
- 4 調査方法 現地実地調査
- 5 出席委員 原田 淳委員長 佐藤 保副委員長  
齋藤律子委員 山谷洋朗委員 中畑一二美委員  
  
オブザーバー 桑田公憲議長 長内秀樹副議長
- 6 説明者 各学校校長及び教頭  
教育委員会 田中学校教育課長、葛西学校教育課長補佐
- 7 随員職員 議会事務局 浅原次長補佐、佐藤主事
- 8 調査結果 別紙のとおり

【別紙】

## 教育民生常任委員会所管事務調査結果

### 1 学校一覧

No.	学 校 名	調 査 日 時	説 明 者 校 長 及 び 教 頭
1	猿 賀 小 学 校	令 和 5 年 1 月 6 日 ( 金 )	小 山 内 睦 子 校 長 五 十 嵐 陽 子 教 頭
2	尾 上 中 学 校	令 和 5 年 1 月 6 日 ( 金 )	太 田 博 之 校 長 古 川 一 夫 教 頭
3	金 田 小 学 校	令 和 5 年 1 月 6 日 ( 金 )	横 山 浩 是 校 長 木 村 卓 教 頭
4	大 坊 小 学 校	令 和 5 年 1 月 6 日 ( 金 )	工 藤 圭 子 校 長 須 藤 和 貴 教 頭
5	竹 館 小 学 校	令 和 5 年 1 月 6 日 ( 金 )	栗 林 直 人 校 長 遠 藤 信 行 教 頭
6	柏 木 小 学 校	令 和 5 年 1 月 1 0 日 ( 火 )	森 内 智 隆 校 長 對 馬 聖 教 頭
7	小 和 森 小 学 校	令 和 5 年 1 月 1 0 日 ( 火 )	木 嶋 隆 校 長 石 澤 勝 明 教 頭
8	松 崎 小 学 校	令 和 5 年 1 月 1 0 日 ( 火 )	山 田 康 子 校 長 成 田 和 弘 教 頭
9	平 賀 東 小 学 校	令 和 5 年 1 月 1 1 日 ( 水 )	桜 庭 裕 之 校 長 山 口 朋 子 教 頭
10	平 賀 東 中 学 校	令 和 5 年 1 月 1 1 日 ( 水 )	岩 淵 純 校 長 館 山 知 昭 教 頭
11	平 賀 西 中 学 校	令 和 5 年 1 月 1 1 日 ( 水 )	鳥 山 喜 代 志 校 長 長 内 和 生 教 頭
12	碓 ヶ 関 小 学 校	令 和 5 年 1 月 1 1 日 ( 水 )	小 枝 康 幸 校 長 山 本 光 教 頭
13	碓 ヶ 関 中 学 校	令 和 5 年 1 月 1 1 日 ( 水 )	小 枝 康 幸 校 長 長 内 邦 彦 教 頭

## 2 調査した学校詳細

### (1) 猿賀小学校

全児童数	148名
教職員数	18名
校舎完成	令和元年
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 確かな学力の向上と豊かでたくましい心・健やかな心身を育てる教育活動の推進</li> <li>・ 教職員の資質・能力向上と学校経営参画</li> <li>・ 地域とともに歩む協働体としての学校の構築</li> </ul>



猿賀小学校会議室にて



職員室内の防災監視盤を調査

### (2) 尾上中学校

全児童数	208名
教職員数	21名
校舎完成	平成17年
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営の基本理念 スローガン「認めて育てる尾上中」生徒に「自信」をもたせ、「自己肯定感」を育み、生き生きと活動する姿の実現を目指す。</li> <li>・ 目指す学校像 明るい声が満ち溢れる学校。挨拶が響き思いやりが見える学校。安心・安全で美しい学校。地域とともにある学校。</li> <li>・ 目指す教師像 ー和顔愛語ー 和やかな笑顔と、愛情ある言葉で接する教師。寄り添い、認め、励ます教師。自発性・主体性を引き出し、生徒の心に火をつける教師。</li> </ul>



尾上中学校会議室にて

(3) 金田小学校

全児童数	250名
教職員数	23名
校舎完成	昭和52年
学校経営方針	<p>問題〔課題〕意識、目的〔目標〕意識、具体化意識をもって経営する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力向上 数値へのこだわり (数値化=具体化:誰でも確認でき、納得できるように)</li> <li>・ 学習習慣 ノートの工夫と徹底使用 (生涯にわたる国語力=活用力が身につくように)</li> <li>・ 人間関係 相手の立場に配慮 (誤解・曲解なく、意思疎通できるように)</li> <li>・ 健康な体づくり 健康な体づくりが確かな学力の充実と豊かな心の育成の根本</li> </ul>



金田小学校校長室にて



体育館から境界付近の樹木を調査

#### (4) 大坊小学校

全児童数	63名
教職員数	15名
校舎完成	昭和55年
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校の主人公は子ども」という原点に立ち、家庭や地域と連携しながら、教職員一丸となって子ども一人一人の良さや可能性を最大限に引き出し、子どもたちの笑顔・元気・夢があふれる安全・安心な学校づくりをめざす。</li> </ul>



大坊小学校図書室にて



体育館を調査

#### (5) 竹館小学校

全児童数	92名
教職員数	13名
校舎完成	昭和60年
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校経営の基本方針 学ぶ楽しさ、認めてもらえる楽しさがあふれる「楽しい学校」づくり ～子どもへの愛情と教育への熱意をもって～</li> <li>・TSSへの取組（竹館小のTSS： 楽しい学校、しんげんに学習、進んであいさつ）</li> <li>・コロナ禍において（感染予防と教育活動の両立をめざす）</li> </ul>



竹館小学校図書室にて





(6) 柏木小学校

全児童数	162名
教職員数	14名
校舎完成	平成7年
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本理念 学校は子どものためにあります。学校の主役である子どもの「命と安全を守ること」(安全保障)を基盤にして、「学ぶ力をつけること」(学力保障)、「人間としての力をつけること」(人間力保障)の3つを保障し、推進していくために、家庭や地域と連携し、子どもの中に「やる気」(学習意欲・向上心・自立心等)を育てていくことを第一とし、子どもの居場所づくりと絆づくりを重視した学校経営を目指します。</li> </ul>



柏木小学校図書室にて



校舎内廊下の劣化箇所を調査

(7) 小和森小学校

全児童数	292名
教職員数	22名
校舎完成	昭和62年
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子ども一人一人のよさを認め、引き出し、大切に育み、教職員一丸となって笑顔あふれる学校づくりを目指す。</li> <li>・ 重点指導項目 あたたかい言葉がけができる子の育成、見通しをもって考えを広げて学ぶ子の育成、健やかな体を育む子の育成、地域を愛する子の育成。</li> </ul>



小和森小学校校長室にて



情報処理室を調査

(8) 松崎小学校

全児童数	1 2 1 名
教職員数	8 名
校舎完成	昭和 5 8 年
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営の基本理念 ～楽しい、笑顔あふれる学校～</li> <li>・ 確かな学力の向上を図るための指導の充実に努める。</li> <li>・ 豊かな心を育む教育とキャリア教育の推進に努める。</li> <li>・ 健康・体力づくりを進んで行う健康安全教育に努める。</li> <li>・ 家庭や地域とともに歩む学校づくりに努める。</li> </ul>



松崎小学校ランチルームにて

(9) 平賀東小学校

全児童数	202名
教職員数	18名
校舎完成	平成30年
学校経営方針	<p>・子どもの持つ『子ども力』を信じて「成長の芽」を大切に育み、教職員一丸となって『今日が楽しく明日が待たれる学校』をめざす。</p> <p>子ども一人一人が個性豊かに成長することを大切にします。</p> <p>職員一人一人が積極的に持ち味を発揮して教育活動を進めます。</p> <p>保護者や地域に開いた「親しみのある学校」にします。</p> <p>地域に根ざした学校「地域とともにある学校」にします。</p>



平賀東小学校会議室にて



校内の施設状況を調査

(10) 平賀東中学校

全児童数	170名
教職員数	20名
校舎完成	平成2年
学校経営方針	<p>(1) 安全、安心で居心地の良い学校づくりに努める。</p> <p>ア 自分自身に責任をもち相手の気持ちを考えた言動がとれる生徒の育成</p> <p>イ 他に迷惑をかけないことや交通ルールとマナー等の日常的な指導の徹底</p> <p>(2) 確かな学力を育む学校づくりに努める。</p> <p>ア 「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」の視点での授業づくり</p> <p>イ 家庭と連携した家庭学習の習慣化</p>





平賀東中学校図書室にて

(11) 平賀西中学校

全児童数	280名
教職員数	26名
校舎完成	平成15年
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人に愛情を注ぎ、励ましの言葉をかけながら、心の触れ合いを大切にした生徒理解と自己実現に向けた指導、率先垂範・師弟同行に努める。</li> <li>・P D C Aのマネジメントサイクルを活用し、教育活動を不断に見直すことから、創意と工夫を凝らした学校改善に努める。</li> <li>・全教職員が「チーム平賀西中」の一員であるという自覚と誇りをもって、全校的な視野に立って協働一致して諸活動に取り組むよう努める。</li> </ul>



平賀西中学校会議室にて



改修中の校内を調査

(12) 碓ヶ関小学校

全児童数	56名
教職員数	14名
校舎完成	平成2年
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営の理念……「児童・生徒が主役」 「主役は子供」という思いを根底に、知、徳、体の調和をとれた人間性や社会性を育むために、子供・保護者・地域・学校の四者がともに歩み、ともに学び育つ教育活動を展開し、信頼される学校づくりを目指す。</li> </ul>



碓ヶ関小・中学校学校会議室にて



新たな教室を調査

(13) 碓ヶ関中学校

全児童数	25名
教職員数	12名
校舎完成	平成2年
学校経営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校は、生徒が「安心できる場所」でなければならない。生徒一人一人の居場所が学校や学級にあり、その中で生徒がみんなと学び、みんなと活動し、自己存在感や自己有用感を高め合いながら、夢や希望をもって生き生きと生活できる「安全・安心な」学校づくりを目指す。</li> <li>・ 「主体的・対話的で深い学び」を通し、「分かった・できた」を実感できる授業を展開する。</li> <li>・ 活動場面では、常に生徒に寄り添い、励ましの言葉をかけ、時と場に応じた支援をしながらも、生徒には主体的に実践させる。</li> <li>・ カリキュラム・マネジメントの手法を活用し、教育活動を不断に見直す。</li> </ul>

- ・教育活動を組織（チーム学校）で行い、全教員数が報告・連絡・相談を日常的に実践する。



碓ヶ関小・中学校学校会議室にて



図書室を調査

### 3 調査結果 — 所感

委員長 原田 淳

#### ①猿賀小学校

- ・ヤングケアラーは見受けられないが、月に1度、教職員間で情報交換を行うなど対策に努めている。
- ・猿賀神社との関わりとして、5年生の女子児童が御田植祭に参加する取組を行っている。児童にとって貴重な経験となり、良い取組であると思われる。

#### ②尾上中学校

- ・教職員の勤務時間は7時45分から4時25分までとなっているが、部活動による時間外が多い。また、教頭先生は朝7時前に出校している。
- ・校舎の屋根からの落雪により、1階の窓ガラスの破損、更には石油ストーブの排気（煙突）部分の損害の恐れがある。今は、応急措置としてコンパネにて対応しているが、早い機会に何らかの措置（屋根に雪止め）をお願いしたいとのこと。

#### ③金田小学校

- ・コロナ禍にあって、全校的な行事は十分な配慮をして対応して実施するようにしている。
- ・いじめについて、保護者からの連絡により把握することもある。アンケートを毎月実施している。30件の案件があり、ネットを使ったものが多い結果となっている。
- ・ICTへの対応として、全教職員が対応しており、児童に対してはノーネット、ノーチューブの日を設定する取り組みを行っている。
- ・学校敷地内の境界付近にある樹木が伸びており、伐採等の対応が必要と考えられる。

#### ④大坊小学校

- ・年度途中において黒石市から3人の転入があった。
- ・児童がタブレット端末と上手に付き合えるよう、親子会議をとおして学校からの啓発を行っている。
- ・いじめの調査は年に1回実施しており、令和4年は2件の報告があった。いずれも教育委員会に報告し、対応している。
- ・金田小学校、小和森小学校、猿賀小学校3校には英語の教科担任が導入されているが、本校は導入されていないため、導入を検討してもらいたい。

#### ⑤竹館小学校

- ・コロナ禍の対応として、生徒一人一人への健康カードを配布する取組、児童に兄弟姉妹がいる場合は、その兄弟姉妹の健康状態の聞き取りを行うなど感染予防に努めている。
- ・特別支援員が必要である。

- ・生徒指導提要の改訂により、本校として何を選んで柱にするかを管理職で検討している。
- ・不審者の侵入を未然に防ぐために、玄関へのオートロックを希望する。

委員 齋藤 律子

#### ⑥柏木小学校

- ・いじめは16件。冷やかし、仲間外れ、嫌な事をされた。SNSでの誹謗中傷など。両方の話をしっかり聞くようにしている。その上で保護者へ連絡をしている。
- ・各種アンケートは記名式で行っている。
- ・働き方については、日課表の見直しを行っている。(掃除の時間や昼休みを短くしている。)
- ・不登校の児童は6年生が2名。
- ・プログラミングはICT支援員がいないとできない。(令和5年度も必要と13校からの要望)
- ・保護者から玄関が朝、開いていると情報があった。(オートロックの要望あり)
- ・校舎内廊下の劣化が見受けられ、修繕等の対応が必要であった。

#### ⑦小和森小学校

- ・特別支援教育については、指導課からの情報や知能検査をみて総合的に判断している
- ・LINEでの悪口などがある。
- ・各種アンケートは昨年度は無記名で行った。今年度はオンラインで行った。
- ・いじめは冷やかし、からかい、悪口、叩く(増加)で2学期まで16件、22人。
- ・不登校、5年生2人。(4年生から1人、5年生になってから1人)
- ・ヤングケアラーについては把握していない。
- ・コロナに関しての連絡、通知は一斉メールで行っている。土日の陽性判定があった場合の連絡は留守番電話で行っている。
- ・外周フェンスの傷みが激しいので予算要求している。

#### ⑧松崎小学校

- ・館田、杉館町会の希望する子どもが共助バスを利用している。
- ・不登校はない、いじめはない、ヤングケアラーはいない。
- ・働き方については、行事の中で削減していく。
- ・塾はそろばん、習字、スイミングスクール、英語などを習っている。
- ・ランチルームは多目的ルームとして使っている。

※転校などで児童が増えている。改修が終わり、快適な学校生活を送っている。

#### ⑨平賀東小学校

- ・特別支援学級が増えている。
- ・幼保との連携は、11月の体験入学のときに情報交換を行っている。



- ・総合学習は地域に根差した内容を行っている。(年間 70 時間行っている。)
- ・タブレット活用のルールを配布している。

#### ⑩平賀東中学校

- ・校則については、要望があったら対応していく。
- ・問題行動はないが、もう少しパワーがあったほうが良い。
- ・1年生が不登校傾向にあるが、完全不登校は防げている。
- ・ヘルメット着用については、努力義務である。
- ・平川愛については、文化や歴史を大事にしてほしいと願っている。
- ・(働き方改革)は授業時間短縮(コロナ禍)でスタンダードになっている。

#### ⑪平賀西中学校

- ・全校生徒を対象にした面談を実施している。1人5分間くらいの短い時間だが、一人一人の夢、希望、好きなものなどを尋ねている。
- ・2人学級担任制を実施して5年目になる。
- ・家庭学習が足りない。1日2時間は20%しかいない。
- ・交通事故が4月から3件発生している。(交通安全教室を実施している。)
- ・不登校は1年生3名、2年生7名、3年生6名の16名であり、増加傾向にある(全く登校しない生徒は1名)。コロナ禍の中、体調不良は休んでも良しとなっているので、休むことに対し抵抗感が下がっているのではないか。
- ・働き方改革については、水曜日に定時退勤(16:25)にしている。
- ・コロナ禍の中、初めての調理実習(しとぎ餅作り)が行われた。
- ・生理の貧困に対応し、女子トイレに生理用品を置いている。

#### ⑫碓ヶ関小学校

- ・熊の出没で校庭が使えなかった。
- ・小・中併置校校長の苦労として、職員会議、校長会や文書の確認などが挙げられた。
- ・不登校はなし。
- ・いじめは軽微なものが多い。

#### ⑬碓ヶ関中学校

- ・生徒からの要望(服装髪型等)に対しては、生徒総会で民主的に話し合いながら決めていく。
- ・中学校、不登校はなし。高校進学後に不登校になるケースがある。
- ・タブレットで作成した中学3年のデータが欲しいという要望に苦慮した。小学校から中学校へのデータ持ち帰りには応じられなかった。

## 副委員長 佐藤 保

今回の所管事務調査は、『①学校経営方針調査し、各校の問題を把握する』、『②学校の施設を調査し、各校の問題を把握する』という2点を目的とした調査でしたが、的外れな質問や初歩的な質問が委員から頻発しました。その都度、ていねいなご回答があり、対応していただきました各校の校長先生、教頭先生に、教育民生常任委員会の原田淳委員長はじめ全委員が心から感謝を申し上げます。

以下は報告者の個人的な見解になりますのでお許し願います。

### 1 学校経営要覧について

学校要覧、学校運営要覧、学校運営計画と表題は違いますが、各校とも独自性を出し、その学校を知る上では最高の資料と拝見いたしました。

巣立つ子供たちが平川市で学んだことを忘れず、自信をもって一人の大人として生きて行けるように、との意気込みが各校の要覧から十分に感じられ、公立小・中学校という組織において、校長と教頭の役割の重要性を改めて知ることとなりました。

この要覧をもって直接に学校評価に繋げるのは学校管理者の本意ではないことも確認しました。今は子供たち一人ひとりを相手にしており、地域差もあり統計上の数字でその学校、その経営を判断することは難しい。

### 2 学習指導要領と生徒指導提要について

この二つの違いを知らずに教育長に一般質問をした事を恥じておりますが、各校長には提要についてどのように考えているか、そしてその対応について伺いました。

この半世紀あまりの技術の進歩、それに合わせた生活様式の変化を目の当たりにして来た団塊世代としては、私たちの小・中学生の頃と比較すれば何か別世界の感があります。

高度成長社会、高学歴社会、情報ネット社会、少子高齢化、人口減少、個人欲求の高まり等々に対応した新学習指導要領と生徒指導提要ですが、特に後者にはインターネット、いじめ等から子供たちを守る新しい課題が盛り込まれています。

教員の働き方改革が叫ばれるなか、そのまま教師に丸投げすれば大変なことになるのではと、老婆心ながら質問させていただきましたが、今までも実施していることが多く、管理者としては学校の現状に合わせ優先順位をつけて、あわてず対応するというお答えをいただきました。

### 3 学校の再編成について

近隣市町村では大幅な再編を実施しておりますが、平川市も久しぶりに取り組んでおります。

これを踏まえ、今回の調査中に、ある校長に、いままでの経験から理想的な学校規模はどの程度かと質問しました。一学年3クラス！一学級25人！との即答で、どこかで決められた模範解答のような気がしましたが、何かご本心の様子です。

地元から学校が無くなることは、卒業して残った人も地元を離れている人も思い出の場所が無くなり、その地域では核を失うこととなります。

しかし学校再編成は、地元のため、卒業生のためにとブレーキを掛けるべきではないと考える一人です。

優先すべきは将来の平川市をになう子供たち、外に羽ばたく子供たちのために十分な教育環境を与えることではないでしょうか。

理想的な学校編成は、地域格差の無い理想的な平川市に繋がるように思います。

#### 4 おわりに

繰り返しになりますが、保育制度の確立期に育った団塊世代は保育園に通うのは数パーセントで、初めて接する先生は輝いていて真に身近な神さまでありました。今でも将来の社会をになう子供を育てる教職は聖域であると考えてる一人で、今回はずけずけと振舞いましたことにお詫びを申し上げます。

子ども家庭庁が4月から発足します。

こどもを守ることは家庭と先生を守ること、働き方改革にも拍車がかかります。ますます学校管理が複雑化することが予想されますが、学校管理者には自信をもって行政に対峙することをお願いして所感といたします。